

高知県

動き出しました

高知県では平成27年度に、一般社団法人支援の三角点設置研究会のご協力いただき人材養成研修を実施し、機運が高まっています。今年度はモデル圏域での取り組みを進めていきます。

1 県又は政令市の基礎情報

高知県



取組内容

【人材育成の取り組み】

- 平成24年度：研修会の実施
- 平成27年度：（一社）支援の三角点設置研究会の人材育成推進県に参加し、研修を実施

【精神障害者の地域移行の取り組み】

- 平成16年～平成23年度：
精神障害者退院促進支援モデル事業
⇒精神障害者地域移行支援特別対策事業
- 平成24年度～：ピアサポーターの養成
- 平成23年度～平成25年度：アウトリーチ推進事業（2ヶ所）の実施

基本情報

圏域数（H28年4月末）	4カ所
人口（H27年国勢調査速報値）	728,461人
精神科病院の数（H28年4月末）	24病院
精神科病床数（H28年4月末）	3,622床
入院精神障害者数 （H27年6月末）	3か月未満：583人（19.7%）
	3か月以上1年未満 ：535人（18.0%）
	1年以上：1,847人（62.3%）
退院率（H27精神保健福祉資料）	入院後3か月時点：66.8%
	入院後1年時点：92.3%
相談支援事業所数 （H28年5月末）	一般相談事業所数：23
	特定相談事業所数：87
障害福祉サービスの利用状況 （H28年3月）	地域移行支援サービス：4人
	地域定着支援サービス：4人
保健所（H28年4月末）	6カ所（県：5ヶ所、中核市1ヶ所）
（自立支援）協議会（H28年4月末）	（人材育成について議論） ：人材育成部会 （活動頻度）：1回/年
	（精神障害者の地域移行について議論）：なし
精神保健福祉審議会（H28年4月末）	H18.2に廃止 別に精神保健福祉協議会を設置

2 精神障害者の地域移行推進のための取組概要

地域移行に関わる職員向けの人材育成

○平成24年度

- ①地域移行・地域定着支援研修会（県主催） 相談支援事業所、精神科病院等45名参加
個別給付化の内容や、地域移行・定着に関する研修会の実施（H25.2.25）
※その他、精神保健福祉士協会主催の会で地域移行・定着支援について説明

○平成27年度

- ①地域移行・地域定着支援研修会
一般社団法人支援の三角点設置研究会の人材育成推進県に参加し、協力を得て、研修を実施
- ②モデル圏域での研修会の開催
モデル圏域において地域移行・地域定着支援に関する研修会の実施

ピアサポーターの育成に関すること

○平成24年度～

- ①ピアサポーター養成・活用（相談支援事業所に委託し、1圏域で実施）
取組内容
 - ・病院やその他の機関での体験発表
 - ・当事者同士の交流会

3 精神障害者の地域移行推進のための取組経緯

ピアサポーターの育成に関すること

○平成24年度～

①ピアサポーター養成・活用（相談支援事業所に委託し、1圏域で実施）

取組内容

- ・病院やその他の機関での体験発表
- ・当事者同士の交流会

アウトリーチ推進事業に関すること

○平成23年度～平成25年度

精神障害者アウトリーチ推進事業（モデル事業）を実施

委託先：単科精神科病院1か所、地域活動支援センター1か所

圏域：中央圏域

対応人数：延15人

精神障害者に関する啓発活動について

○継続しての取組

- ・地域住民と精神障害者の交流の場づくり（各福祉保健所において）
- ・精神障害に対する地域住民の理解を深めるための講演会や研修会の開催（各福祉保健所において）
- ・地域移行・地域定着支援の取組みを促進するための精神科医療機関への働きかけ

3 精神障害者の地域移行推進のための取組経緯

人材の育成について

①地域移行・地域定着支援研修会

一般社団法人支援の三角点設置研究会の人材育成推進県に参加し、協力を得て、研修を実施

- ・プレ研修H27.12.7 相談支援事業所、精神科病院等29名参加
- ・本研修H28.2.2～2.3 相談支援事業所、精神科病院等
1日目72名、2日目64名参加



②モデル圏域での研修会の開催

モデル圏域において地域移行・地域定着支援に関する研修会の実施
(H28.3.24)

4 精神障害者の地域移行推進における強みと課題

特徴(強み)

1. 平均在院日数が短い(全国7位)、病床が多い(全国7位)
2. ピアサポーターの養成に取り組んでいる

課題

1. 圏域により違いがある(取り組みの差、社会資源量)
2. 地域移行支援、地域定着支援の実績が少ない
3. 自立支援協議会に地域移行部会が設置されていない等、協議の場が少ない

5 精神障害者の地域移行推進のための本年度のスケジュール

今年度の目標

1. モデル圏域で地域移行・地域定着の取り組みを進める。
2. 退院可能入院患者の実態調査を行う。
3. ピアサポーターの養成を進める。

次期(月)	実施内容	担当
通年	モデル圏域(幡多福祉保健所)において取り組みを行う。 ・啓発劇(秋ごろ) ・病院職員を対象とした研修会(6月～7月頃) ・フォローアップ研修(中央圏域及び幡多)	げきだん幡多
8月頃	病院で退院可能患者の洗い出しと対象者の意向聞き取り調査の実施	障害保健福祉課
通年	ピアサポーターの養成 研修会、交流会、医療機関等での活動	障害保健福祉課

